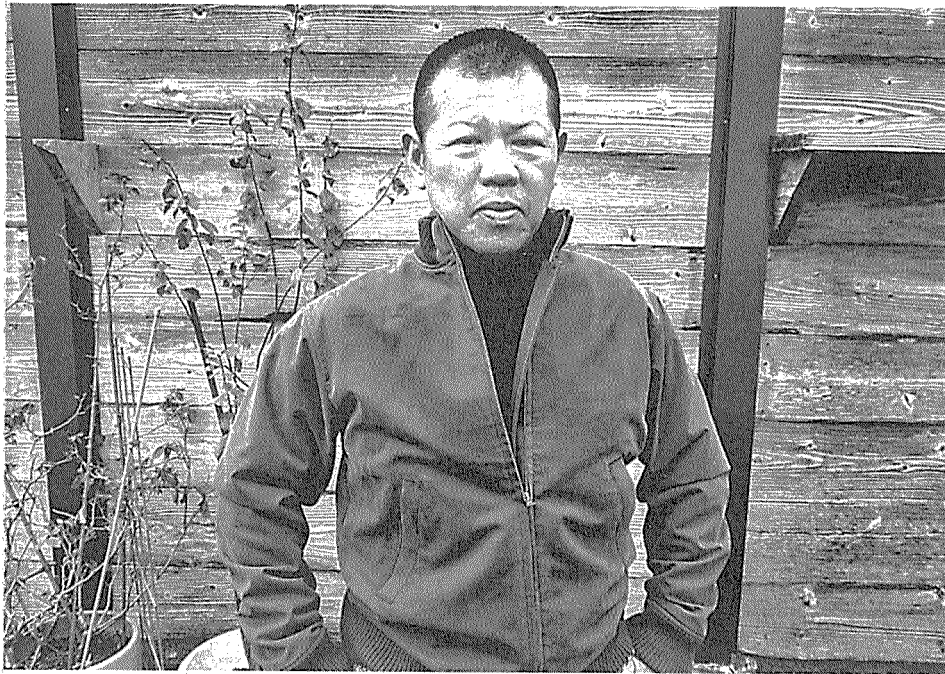


北海道警の刑事役で「全裸監督」に出演したドンペイさん—本人提供



大部屋出身の俳優 土平ドンペイさん(53)——草津市

# はい上がる人

## わたしの歩跡

動画配信サービス「ネットフ

リックス」(月額8000円・税抜き)で8月8日に配信が始まった「全裸監督」に出演してまです。AVの村西とおる監督をモデルにした作品です。驚くことに世界190カ国に同時配信で

すって。▲本来は映画を対象とする米アカデミー賞で今年、ネットフリックス配信の「ROMA/ローマ」が監督賞など3冠に輝き、話題を呼んだ▼

すごいなと思ったのは、役員

# 190カ国配信の動画出演

が来て、メインの役者とカメラや音声などのメインスタッフが東宝の撮影所に呼ばれて、説明があったんです。弁護士が「1時間のパワハラ、セクハラの講習を受けてください」。昔よくあった「何してるんだよ」って助監督が物を投げつけるのは、絶対ダメですから。地方ロケでは有力者の誘いに十分気をつけてください——って言われて。

「全裸監督は全8話。僕は、数話に出てるんですけど、ハワイロケがあったり、食事だって、ケータリングとか、クレープを焼いたり、好きな飲み物が置いてあったりとか。とにかく予算があるんですよ。

映画なら間違いなくR18ですし、テレビなら流せないんですけど、動画配信は規制が少ない

「お礼を言いたいとずっと思っていて……」

民放ドラマの打ち上げで、乾杯の後、初顔合わせと思っていた監督がドンペイさんのそばに来た。「えっ、なんのこと?」。40代の監督は約20年前の出来事を遠い目で話し始めた。

Vシネマ「湘南爆走族」の撮影は深夜1時ごろ終了した。千葉県九十九里浜。ドンペイさんら役者7、8人が疲れた体をワゴン車の座席に落ち着かせ、都内に帰ることになった。

若い助監督がハンドルを握り、暗い夜道を走り始めた。しばらく進むと、車体が左右にふらつく。うとうとしかけたドンペイさんが運転席を見ると、助監督の顔がガクッ、ガクッ。「危ない!」「すみません」「大丈夫か」。少したつと、また蛇行。「ちょい待て。1回代われ。助手席で10分だけ寝ろ」

## 映像の将来像と実感

んです。村西監督を演じるのは山田孝之さん。他に満島真之介さん、玉山鉄二さん。僕は北海道警の刑事役です。出身地の北海道で二本を出す村西監督をずっと追っかけるんです。道警はミスばかりして、その度に俺がおっさんが現れる。それが警視庁のリリー・フランキーさんという設定です。

監督は、「銃」で昨年の東京国際映画祭の監督賞を受けた武正晴さんをチーフに3人。カメラマンは、北野武さんの作品なども手掛ける山本英夫さん。2人も映画界の一流どころで、映画「パッチギ！」(2005年)でも一緒にしました。山本さんは寡黙な人で、冗談なんか言わない人なんですけど、作品で一緒になると、カメラを調節中に「おー。比叡山高校出身の土平ドンペイさん、よくお越しいただきました」って

### それぞれの20年 苦も楽も

ハンドルを握ると目は覚め、東京湾アクアラインを通り川崎市へ。1人ずつ降りし、最後に自宅近くへ着いた。助監督を起こすと、車内をキョロキョロした。既に夜は明けている。「これから頼むで」と運転席を譲り、以来会うこともなかった。

「運転を代わってもらったのが僕です」。約20年前は映画学校の卒業直後。毎晩1~2時まで撮影に追われ、辞めようかと悩んでいた。それでもこの世界に残り、今では映画やドラマの演出も任されるようになった。ドンペイさんも、当時はVシネマが主舞台で「役者として生き残れるかわからん」ときだった。

苦勞も喜びもあったそれぞれの20年間。「いつ一緒に仕事ができるかなと思っていました」「同じ道でこつこつ頑張っ

て出会えたのが何よりうれしいな」再会の夜はお酒が弾み、いとおしく流れた。

【編集局・大澤重人】  
次回18日が最終回